

競技審判上の注意

- (1) 本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会平成 26 年度競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は、全て大会本部にて行います。
なお、サービスジャッジは都道府県対抗団体戦、個人戦ともに準決勝より配置します。その他の試合においては、原則として配置しません。
- (3) 大会日程全日においてタイムテーブルの 1 巡目のみ開始時間が決まっていますので、開始 30 分前までに会場に到着してください。
なお、2 巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式（試合番号順に空いたコートに入る）で行います。そのためコートの変更等もあり得ますので、時間に余裕を持って会場に到着してください。
- (4) 競技の進行を円滑に進めるため、「オーダー交換」「選手招集」等の放送に十分注意してください。
- (5) 試合が連続する場合は、都道府県対抗団体戦・個人戦とも原則として、試合終了後 10 分後に次の試合を開始します。競技役員の指示に従い、監督・コーチ・選手は選手招集所にすみやかに集合してください。
- (6) バックバウンダリーライン後方にコーチ席 2 席を設けます。団体戦におけるベンチ 6 席は、コーチ席から離して設置します。ベンチ・コーチ席に入ることができるのは、団体戦では登録した監督・コーチ・選手のみ、個人戦では登録した監督・コーチのみです。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組合せ番号の若番チーム（選手）から行います。退場は、主審の先導により勝利チーム（選手）から行います。
- (8) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
 - ①各ゲームにおいて一方のサイドが 11 点になったとき、60 秒を超えないインターバルを認めます。選手は 20 秒前にはコートに入ってください。
 - ②第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認めます。選手は 20 秒前にはコートに入ってください。
- (9) インターバル中でのアドバイスは、同時に 2 人までコートに入ってもよいが、主審が「20 秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れてください。
- (10) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
 - ①ドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
 - ②氷嚢は、ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ（ソフトバック）等に入れ、保管してください。
- (11) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (12) シャトルは試打してありますので、選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (13) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- (14) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、

団体戦では当該選手と監督、個人戦では当該選手とコーチ席の監督・コーチのいずれか1名に限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。

- (15) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (16) 試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (17) 選手は試合開始前および終了後に、主審(及びサービスジャッジ)と握手をすることを心掛けてください。
- (18) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは縦 15 cm、横 25 cmとし、都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。また、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成 21 年 8 月 15 日付の日小連文書のとおりとします。
- (19) 監督・コーチは所定の名札(ID カード)を着用の上、服装は公認審判員規程第 3 条第 5 項第 6 号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (20) その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。

[都道府県対抗団体戦に関する事項]

- (1) オーダー用紙は 4 回戦(準々決勝)分までは、代表者会議資料にて配布します。4 回戦(準々決勝)勝者チームは、次回戦オーダー用紙を主審から受け取ってください。
- (2) オーダー用紙は、オーダー交換所に提出してください。対戦チームが揃ったら、競技審判副部長立会いのもとでオーダー交換を行いますので、定刻(指定のあった時刻)厳守をお願いします。

東総合スポーツセンター

26 日、27 日の 1 巡目オーダー提出時刻は、【8:00】です。

秋葉区総合体育館

26 日の 1 巡目オーダー提出時刻は、【9:00】です。

いずれの会場も 2 巡目以降のオーダー交換については、放送で案内します。

- (3) 定刻(指定のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときは、「棄権」と見なします。
- (4) オーダー提出後の選手変更は、認めません。
- (5) コート入場後の公式練習は、主審の指示により各試合(マッチ)毎に 2 分間行います。
なお、当初から 2 コート以上用いて試合を行う場合も同様に、試合(マッチ)前に 2 分間行います。
- (6) 1・2 回戦は 3 試合全て行い、3 回戦以降は勝敗が決定次第、打ち切りとします。
- (7) 競技の進行により、コートを並行して行うことがあります。この場合も試合の順序に関係なく、勝敗決定後、打ち切りとします。

[個人戦に関する事項]

- (1) コート入場後の公式練習は、主審の指示により同時に 2 分間行います。シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。